

科目名	<b>社会学概論</b>	
担当者	河原 晶子 / KAWAHARA, Akiko	
科目情報	心理臨床<関連> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	社会学は、普段は意識しない「日常性」の中に、人と人のつながり、個人と社会の関係、個人と集団の関係、社会秩序など人間社会を形づくっているものを探る学問である。講義では、医療・福祉・教育など人と人が関わりあう活動領域で有効かつ必要な、社会的なものを見方を取り上げ、考えてもらう。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な事柄について、個人的なことと社会との結びつきを認識できる。</li> <li>・「日常生活の自明性」を再考する発想ができる。</li> <li>・前近代から近・現代社会への変化のすう勢を理解できる。</li> <li>・数値データを読み取り、その背後にある社会事象を推測し、それを適切に、説得力をもって言語表現できる。</li> </ul>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) イントロダクションー社会学への招待</li> <li>(2) 社会現象としての「わたし」意識</li> <li>(3) 自己理解・他者理解としての「役割」現象</li> <li>(4) 集団一人と人のつながりの多層性</li> <li>(5) 近現代社会における集団と個人</li> <li>(6) 高度発達した官僚制組織と脱官僚制化の動向</li> <li>(7) 職業社会学1ー現代社会における職業労働の特質ー</li> <li>(8) 職業社会学2ー職業の多様性・働き方の多様性ー</li> <li>(9) 職業社会学3ー現代社会の特徴的職業：ヒューマンサービス職ー</li> <li>(10) 家族社会学1ー社会の変化と連動する家族の変化ー</li> <li>(11) 家族社会学2ー多様化する家族の意識、家族のかたちー</li> <li>(12) 現代日本の「格差社会」化と家族関係、労働関係</li> <li>(13) 「格差（拡大）による貧困化社会」の現代日本1</li> <li>(14) 「格差（拡大）による貧困化社会」の現代日本2</li> <li>(15) 総まとめー何が「社会」を秩序立てているのか</li> </ol>	
自学自習	事前学習	意味の分からない用語、指示する用語は事前に調べておくこと。
	事後学習	毎回、授業冒頭に前回授業の復習小クイズを行うので、よく復習しておくこと。
使用教材・参考文献	<p>【参】 野村一夫『社会学の作法・初級編』文化書房博文社、1999年  飯田哲也編『基礎社会学講義』学文社、2002年  長谷川公一他編『社会学』有斐閣、2007年</p>	
成績評価方法と基準	<方法> 定期筆記試験70% / 課題レポート20% / ワークシート10% <基準> 科目の到達目標を重視する。到達していない者は不合格となる。	
備考	表データを読んだのレポートを課す。レポートは添削して返却するので、受講生は必ず再提出すること。	